



大阪府泉佐野市とふるさと逸品協定を締結

それぞれの特産品を逸品として相互にPRすることで、ブランドの確立や販路開拓につながる「ふるさと逸品協定」を大阪府泉佐野市と4月10日(金)に締結しました。

この取り組みは、大阪府泉佐野市で行っている取り組みで、町の特産品である、米、そば、ペそら漬けなどが逸品として登録されました。

泉佐野市は、自主財源の確保として、ふるさと納税に力を入れており、制度開始からの累計受入額が日本一となっています。

また、4月9日(木)には、泉佐野市政策監兼都市整備部長の阪上博則さんより『“選ばれる自治体”になるための職員力～自治体の稼ぐ力と住民満足度を両立させる組織づくり～』という題目で職員を対象とした講演も行われました。



トヨタライン株式会社が通学用黄色い帽子を寄贈

トヨタライン株式会社(齋藤和博会長)が、4月9日(木)に虹のプラザを訪れ、通学児童用黄色帽子と図書カードを寄贈しました。

これは、齋藤さんの「町内の子どもたちに通学時によく目立つ黄色い帽子をかぶってもらい、交通事故にあわないで、元気に明るく通学してほしい」という思いから、毎年寄贈いただいているもので、今年で26回目の取り組みとなります。

寄贈された帽子は、新一年生に配られ、通学時に着用し、大切に使用されます。大変ありがとうございます。

※写真は、トヨタライン株式会社齋藤和彦社長が鈴木敦夫教育長へ贈呈の様子



伝統文化の交流 大石田町民謡研究会70周年記念公演

大石田町民謡研究会(木村和夫会長)が4月12日(日)に発足70周年を記念した公演を虹のプラザ「なないろホール」で開催しました。

公演では、雪国鷹巣太鼓保存会の勇壮な演奏を皮切りに第一部では、同会会員が唄や踊りを披露し、第二部では、歴代の県民謡王座などの名手が唄声を響かせました。

第三部では、特別ゲストとして「みち乃く兄弟歌謡ショー」が行われ、会場は熱気に包まれました。



山形県縦断駅伝競走大会が開催 北村山チームが町を快走

第70回山形県縦断駅伝競走大会が4月27日(月)～29日(水)の3日間行われ、2日目の28日(火)には大石田町内を各チームのランナー達が駆け抜けました。大石田を通過する際には、北村山チームは1位で町内を快走していました。

大石田町では、北村山チームのために園児たちや多くの方が旗を振って応援し、北村山チームは総合順位5位の結果となりました。

北村山駅伝チームの心一つにたすきをつなぐ姿は、見る人に夢と希望を与えてくれました。選手の皆さん、大変ありがとうございました。



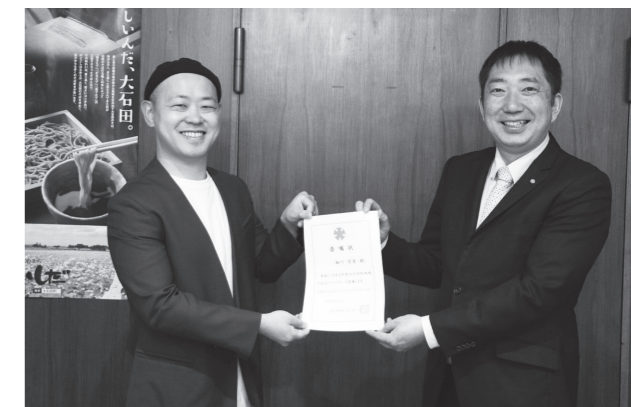
令和8年度の町政を説明 町政懇話会を開催

町の令和8年度の施策を説明し、「町民の参加と協働によるまちづくり」を推進するため、町では毎年、町政懇話会を開催しています。

今年度は、4月20日(月)に虹のプラザにて行われ、庄司町長が施策の概要を説明しました。

その後、質疑応答が行われ、参加者からは、ごみのポイ捨て問題や中学生を対象とした公営塾の事業についてなどの質問がなされ、庄司町長や各課長が回答していました。

町政懇話会の議事録は町ホームページからも確認できます。▶



地域力創造アドバイザーを細川哲星さんに委嘱

地域独自の魅力や価値を向上させる人材として「地域力創造アドバイザー」委嘱状交付式が4月24日(金)に行われました。

今回、町が委嘱したのは、株式会社イマーシブルラボ代表取締役の細川哲星さんです。細川さんは、参加者が犯人役、真相を究明する役などを担う体験型の謎解きゲーム「マードーミステリー」の開催を通じて、町の魅力発信のために活動する予定です。

細川さんらは、今後町を巡り、脚本を作成し、「宿泊型のイベントの開催など実施したい」と話しました。

任期は、令和8年4月24日から令和9年3月31日までです。